

Isahaya General Hospital **RESIDENT PROGRAM**



Enjoy the challenge!

何事にも挑戦する事を楽しむ医師であれ

独立行政法人 地域医療機能推進機構

諫早総合病院



豊富な経験とあたたかなサポートの中で 充実した研修生活を始めませんか。

諫早総合病院
院長

西村 直樹

救急から一般診療まで幅広く学びながら、実践的な力を身につけたいと考えている皆さん、JCHO諫早総合病院で二年間の研修を始めませんか。

当院は323床の中規模病院で、年間3,000件以上の救急搬送、年間1,400件以上の全身麻酔症例があります。さまざまな症例を経験できるため、日々の診療を通して実践力をしっかりと身につけることができます。研修医一人ひとりが十分に症例を担当できる環境が整っていることも、当院の大きな魅力です。

また、中規模病院ならではの良さとして、診療科どうしの距離が近く、顔の見える連携が取りやすいことも特長です。研修中の診療科に限らず、わからないことや気になることがあれば、他科の医師にも気軽に質問や相談ができる環境があります。

病棟や外来のスタッフもやさしく丁寧にサポートしており、研修医の皆さんが安心して学び、働ける環境づくりを大切にしています。

さらに、医師や看護師などのスタッフが毎週行っている研修医向けレクチャーは、日々の診療にすぐに生かせる内容として好評です。メンター制度も導入しており、研修中の悩みや不安にもきめ細かく寄り添える体制を整えています。JCHO諫早総合病院で、私たちと一緒に学び、成長していきませんか。皆さんにお会いできる日を、心より楽しみにしています。



充実した初期研修を 全職員がサポートします

諫早総合病院
臨床研修プログラム責任者

溝上 明成

当院は地域の基幹病院であり、広範囲の地域より多数の患者さんが紹介や救急搬送されて受診され、豊富な症例と疾患の多様性にあふれ研修するのに恵まれた環境です。指導医は優秀かつ熱心で、看護師さんをはじめメディカルスタッフもやさしく快く相談に応じてくれるので楽しく研修時代を過ごせます。研修プログラムは自主性を尊重し、皆さんと相談して組み立てます。当院は週に4日の救急輪番日があり、研修医の先生が初期対応を行い、指導医と相談して検査や治療方針を立てることにより成長を日々実感できると思います。10年後・20年後は皆さんがキーマンとして医療をささえているでしょう。ただ医療人としての土台は初期研修の2年間だと思います。当院は病院スタッフ全体で研修医の先生を育てたい雰囲気にあふれています。自ら学び・考えて行動する皆さんをサポートさせていただきます。病院見学で研修の独自性がわかると思いますので、是非来て実体験してください。

臨床研修医募集

■ 応募資格	大学医学部または医科大学卒業者 (3月卒業予定者を含む)	■ 待遇	受け入れ数 1年次：7人 2年次：7人 計：14人
■ 採用予定人員	7人		研修手当(税込) 1年次：422,000円/月 [宿日直勤務4回想定] 2年次：433,000円/月 [別途諸手当有] ※地域手当を含む
■ 募集および採用の方法	募集方法 公募 ・履歴書 ※ホームページよりダウンロード可 (選考申込書兼履歴書) ・卒業(見込み)証明書 ・成績証明書 選考方法 面接：有、筆記試験：無 募集および選考の時期 [募集時期] 7月1日～9月30日 [選考時期] 7月1日～9月30日 ※ご希望の日程を3日程お知らせください。 日程を調整させていただきます。		勤務時間 8時30分～17時15分 有給休暇 年末年始、夏季3日間 年休：1年次20日/年、2年次20日/年
			当直 約3～5回/月 1年次：20,000円/回程度 2年次：20,000円/回程度
			諸手当 ・賞与(年2回) ・時間外手当 ・通勤手当(通勤距離が2km以上の場合) ・住居手当(上限28,000円) ・その他 赴任旅費(引っ越し費用)有
■ 提出先	〒854-8501 長崎県諫早市永昌東町24番1号 諫早総合病院 総務企画課 山田 TEL 0957-22-1380 FAX 0957-22-1184 E-mail: rinshokenshu@isahaya.jcho.go.jp 臨床研修プログラム責任者 溝上 明成 (統括診療部長)		

Outline

病院概要

■ 病院の理念	仁愛～思いやりいつくしむ心を大切に～
■ 研修の理念	Enjoy the challenge! 何事にも挑戦する事を楽しむ医師であれ
■ 研修の基本方針	・豊富なプライマリ・ケアの診療能力を身につける。 ・地域の医療機関と協力して、患者さんに安全かつ安心な医療を提供する。 ・患者さんやご家族に、解り易く説明するよう努める。 ・常に医療水準の向上に努め、質の高いチーム医療を提供する。
■ 標榜診療科	内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、精神科(緩和)、病理診断科、リハビリテーション科、腫瘍内科、脳神経外科、放射線治療科(28診療科)
■ 許可病床数	323床(一般病床：315床、感染症病床：4床・結核病床：4床)
■ 職員数	735人(2026年5月1日現在、非常勤職員含む) 医師100人、歯科医師1人、看護職員396人、コメディカル99人、事務66人、その他73人
■ 病院の指定	救急告示病院、災害拠点病院、結核指定医療機関、生活保護法指定医療機関、指定小児慢性特定疾病医療機関、難病法の指定医療機関、DPC対象病院、労災保険指定病院、HIV協力病院、臨床研修指定病院(管理型・協力型)、日本医療機能評価機構認定病院、地域医療支援病院、地域脳卒中センター、長崎県指定がん診療連携推進病院、認知症支援病院

JCHO諫早総合病院は、長崎県央の中核病院として地域医療の中心的役割を担っています。
地域医療支援病院、臨床研修病院としての実績をご紹介します。

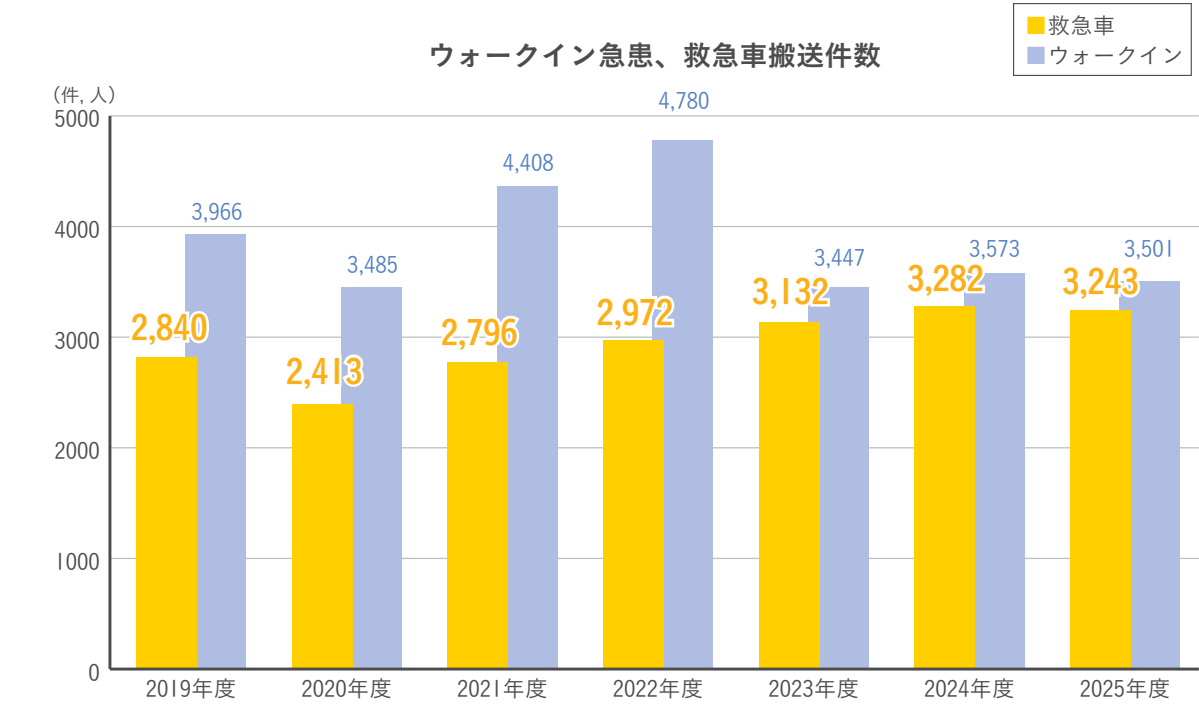
1 多くの臨床経験を積もう !!

地域の基幹病院として、諫早市だけでなく島原半島全域から患者を受け入れています。医療圏としては約27万人の規模となり、貴重な症例を経験することができます。このため、質・量ともに密度の濃い研修をうけることができます。

(2026年 4 月 1 日現在)			(2025年度)	
医療圏の人口	諫早市	130, 000人	在院日数	9. 1日
	雲仙市	38, 248人	入院患者数	270人
	島原市	39, 687人	外来患者数	1 日平均672. 1人
	南島原市	37, 192人	救急外来患者数	1 日平均18. 5人
医師数(常勤医師・研修医)		101人	救急車搬送件数	1 日平均8. 8件
職員数		735人	ウォークイン救急外来患者数	1 日平均9. 6人
入院ベッド数		323床	心肺停止搬送患者数	100件

2 救急対応に自信を持とう !!

当院では豊富な救急症例を経験できます。当直では、まず研修医がファーストタッチで診療を行い、内科系・外科系当直医がバックアップとして共に診療します。また、各科医師はオンコールとして待機しているため、必要時には診療を応援します。



3 手術・手技をたくさん経験しよう !!

外科系の手術、内科系の心臓カテーテル検査、消化管内視鏡検査、気管支内視鏡検査など、指導医のもとで多数の手術・手技を経験することができます。

(2025年度実績)

年間手術件数	3,513件	緊急手術	471件
全身麻酔手術件数	1,670件	緊急PCI	73件
緊急内視鏡	109件	緊急透析	2件



HCU



手術室

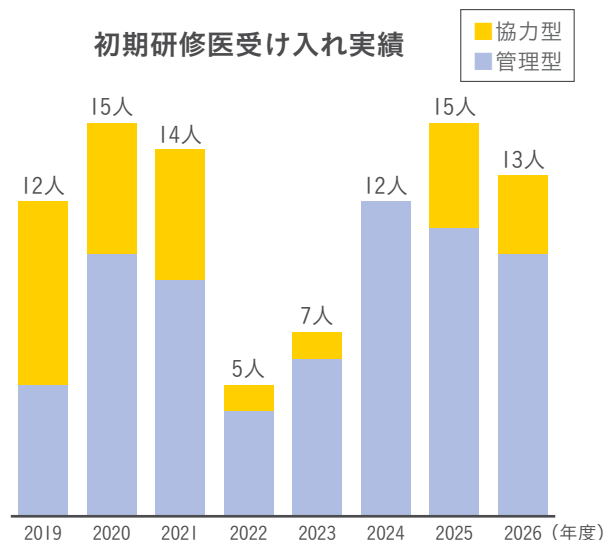


血管造影室

4 仲間と切磋琢磨しよう !!

当院は2004年度から初期臨床研修医を受け入れてきました。当院で研修した研修医は、熱心な指導医の教育で成長し、各分野でロールモデルとなる医師として活躍しています。先輩からの口コミにより当院で研修する人が増えてきたのが大きな特徴です。経験できる機会をたくさん持てるように配慮しています。

初期研修医受け入れ実績



5 病院全体で研修医を育てます !!

病院全体で研修医を育てることを大切にしています。患者さんの対応や処置について、病棟や救急外来の看護師から教わる機会がたくさんあります。輸血実習や超音波実習を通じて、検査技師から検査の手技を学ぶことができます。



副看護部長 富山ルミ

私たち看護師は、外来や病棟だけでなく、様々な部署で研修医と関わる機会が多い職種です。4月の新人看護職員研修では、注射や採血、医療機器の取り扱いなどを研修医と一緒に演習を交えて学んでいます。看護師と研修医は、チーム医療を展開する仲間として切っても切り離せない存在です。看護師が研修医にとってホッとできる存在となり、お互いに成長し合える関係を構築していきたいと思っています。



臨床検査技師 上田由美子

検査部では、心エコーなどの生理機能検査、血液型やクロスマッチなどの輸血検査をサポートさせていただいています。研修に携わることが私たち検査技師にとっても手技の見直しや自己研鑽のいいきっかけとなっています。生理機能、輸血以外の部門にも専門知識を持つ認定技師がいますので、いろいろな形で研修に協力していけたら嬉しいです。何かご要望があれば、お気軽に検査部へお越しください。

医師として患者さんに全人的な医療を行うための基礎を習得することが、初期臨床研修の目的です。
当院の研修プログラムは、その目的を十分に達成することができ、研修医のニーズに柔軟に対応できるようになっています。

基幹型研修プログラム

研修医の希望に沿ったローテーション

[プログラム例]



救急科、ER夜勤・ER準夜

救急科：日勤帯の救急医療を行います。(12週必須、4週まで麻酔科に変更可)

ER夜勤：夜勤帯の救急医療を行います。(月4～5回)

すべての救急患者のファーストタッチを行い、救急医療を実践することができます。

内科

すべての内科の専門科がそろっています。

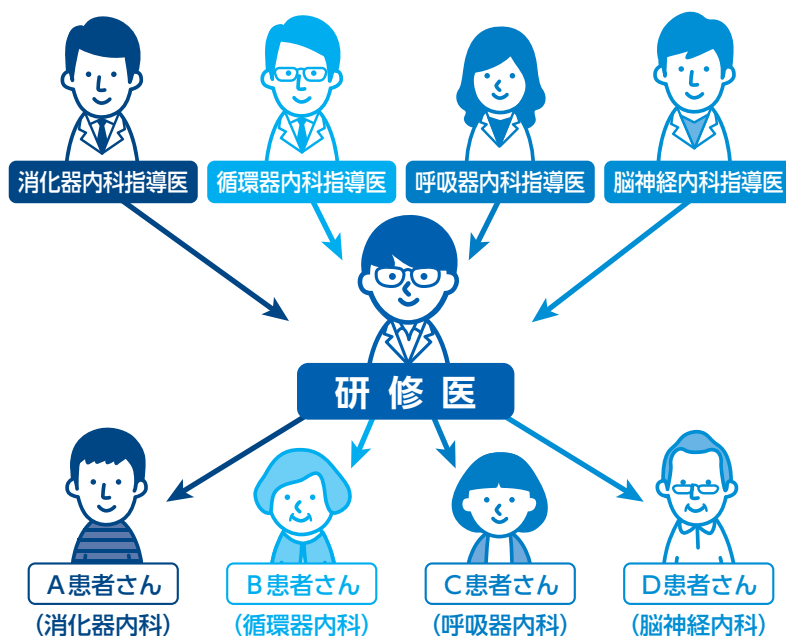
総合診療科・脳神経内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科・
血液内科・リウマチ膠原病内科・糖尿病内分泌内科

内科全体でローテーションし、患者さんごとにそれぞれの指導医と入院管理を行います。

幅広い症例を各科の専門医と持つことができます。

疾患の分野や担当患者数は希望に応じて変更できます。

ER夜勤で緊急入院した患者さんを退院まで担当することができるのも大きな魅力です。



研修医の一日に密着！

K 研修医

I 年次 (PGYI) / 宮崎大学卒業

趣味・特技：学生時代は硬式テニス部で、体を動かすことが好きです。休日はテニスをしたり、ジムで筋トレしたりしています。
好きな店：かつれつ食堂（おかずの量も多くご飯お代わりもできるので食べ盛りの人におすすめです！）
おすすめスポット：フルーツバス停（海岸沿いに並ぶユニークなバス停を見ながらのドライブが最高です！）
大切にしていること：疑問をそのままにせず聞くこと



研修医の一日 内科研修中

8:30 ● グランドカンファレンス

毎週木曜日、内科と救急をローテしている研修医の中から一人ずつ過去に経験した症例の発表を行います。多くの内科の指導医の先生方に出席頂き、症例発表に慣れる場としてとても良い経験になります。

10:00 ● 指導医との相談

諫早総合病院内科研修の最大の特徴は、様々な科の患者さんを同時に担当できる点です。担当患者さんの主治医の先生が指導医となり、一緒に診療しながらたくさんのことを学べます。また上級医の先生方との垣根も低く、簡単な質問から今後の治療方針まで、日々の診療で出てきた疑問点はすぐに相談できるので効率よく知識を得ることができます。研修に慣れてくると、患者さんの処方内容や必要な検査を自分で考え、指導医の先生との相談の下で日々の診療へ反映させることができます。

12:30 ● 研修医レクチャー

毎週水曜日と木曜日には、各科の先生方や他職種の方から一つのテーマについてレクチャーして頂きます。内容はとても実践的で、実際に臨床の場で活用できる知識ばかりです。日々の病棟業務や救急外来での診療にとても役立っています。レクチャーは昼食を食べながら参加できるので、お昼の時間を有効に使えます。

13:15 ● 消化管内視鏡

当院では、指導医の先生方の許可があれば、興味のあるものには自由に参加することができます。経験できる手技は、消化管内視鏡検査や気管支鏡検査、心臓カテーテル検査、腰椎穿刺、骨髄穿刺、関節穿刺など多岐にわたります。各手技を練習するためのシミュレーターがあるので時間を見つけて研修医同士で練習しています。

17:15 ● 当直

救急当直は比較的若手の先生方と一緒にすることが多く、夕飯は近隣のお店から出前をご馳走して頂きます。一緒になった先生と話しながら食べるので、距離も近くなり、些細なことも質問しやすくなります。研修医は平均で週に1回救急当直に入ります。内科・外科問わず、軽症のウォークインからCPAの救急搬送まで幅広い症例を、まず研修医から診察させてもらいます。内科・外科当直の先生方と相談しながら診療にあたり、鑑別疾患の挙げ方から治療対応までとても勉強になっています。

必須科

外科、小児科、産婦人科、精神科を各4週研修します。

※小児科研修中は夜間に小児科拘束で救急対応を行います。

※精神科の研修は、小島居諫早病院・長崎県精神医療センターにて行います。

※一般外来研修…各科研修中に合計4週間行います。

地域医療

哲翁病院、対馬病院、平戸市民病院、上五島病院、生月病院から、4週間地域医療を選択します。

希望に応じて研修協力病院は追加が可能です。

研修協力病院

小島居諫早病院(精神科)

哲翁病院(地域医療)

対馬病院(地域医療)

平戸市民病院(地域医療)

上五島病院(地域医療)

生月病院(地域医療)

長崎大学病院

長崎県精神医療センター(精神科)

万全の
サポート
体制！

4名の研修担当者が、6月・9月・12月に研修医と面談を行っています。

研修の到達目標を達成できているか確認しアドバイスをしています。

また、ローテーションの希望、研修プログラム内容の改善、進路相談などを行い、研修医生活をサポートしています。



■ 病院見学・採用試験について

Q. 病院見学の申し込みはどのようにしたらよいですか？

A. 当院では医学生の実習見学を随時受け入れています。宿舎の利用も可能です。詳しくは研修医ホームページの「病院見学をしたい」をご覧ください。

Q. 病院見学の交通費補助はありますか？

A. あります。詳しくは「新鳴滝塾のホームページ」を参照してください。

Q. 採用試験の流れを教えてください

A. 研修医ホームページの「募集要項」の中の「応募フォーム」から申し込みをしてください。

■ 研修生活について

Q. 希望の診療科をローテートできますか？

A. 研修医の希望を最優先にしています。研修の質を確保するために、各診療科の受け入れ人数を超える希望があった場合は時期を調整します。入職後の診療科の変更も柔軟に対応しています。

Q. 当直の体制について教えてください。

A. 当直（ER夜勤）は、月に約3～5回あります。上級医の指導のもとで、救急外来（ウォークイン、救急車）の初期診療を研修医が行います。夜勤翌日は朝から帰宅する方針となっています。

Q. 学会や研修会には参加できますか？

A. 学会や研修会には交通費の補助があります。また、指導医のもとで学会発表を行う場合にも交通費の補助があります。

Homepage



LINE 公式
アカウント



Isahaya General Hospital
RESIDENT PROGRAM



独立行政法人 地域医療機能推進機構
諫早総合病院

〒854-8501 長崎県諫早市永昌東町24番1号
TEL (0957) 22-1380 FAX (0957) 22-1184
<https://isahaya.jcho.go.jp>